

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイ・児童発達支援ミーサ		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外での遊び、活動が日常でも実施しているところ	公園が近くにあるため、短い時間でも、運動できるチャンスがあれば、屋外での活動を積極的に取り入れるようにしています	事業所裏にも空地があるので、こちらでも運動が出来るよう、整備したい
2	ご家庭で出来ないような体験を出来るように企画を行っている。	他の放課後等デイ、ご家庭では困難と思われるような体験を実現するための、企画・実施を積極的に行うようにしています。また、田舎立地を利用して事前に触れるような活動を行っています	ご利用者様にとって将来ためになるような体験を常に考え、実現の労力を惜しまないようにしたいです。また、従業員の能力の向上も常に図っていきたい。
3	宿題や学習を完遂することを職員全員が共通意識として持っていること。	職員を多めに配置することで、宿題に取り組みやすくしています。また、登所してすぐに宿題に取り掛かれる雰囲気づくり、学習室の構造化を行っています。また、ご利用者の能力を鑑みて適正な宿題・課題であるかを常に見極めるよう努めています	ご利用者様と職員の信頼感を高め、学習意欲をご利用者様に高めていただくような取り組みをしていくとともに、自立して学習に取り組めるよう促していききたい。宿題や課題をやらずに済むような雰囲気をつくっていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	天候等で週末イベントなどに変更があったり、告知が遅いこと。	週末に向けての天候などの予測は出来ているが、代替イベントの立案が遅いため、結果、告知が遅くなっている。	週末に向けての天候などの予測を早めに行い、代替イベント立案を早くすることで、保護者様・ご利用者様への告知を早め、スムーズに対応できるようにしていきたい。また、天候の関係ない屋外でのイベントも実施していきたい
2	物理的なスペースが狭いため、療育に集中させづらい。 雨天時に過ごしにくい また、児童発達としては開所時間が短い	雨天時のプログラムを充実させていく。 開所時間増を図りたいが、職員の確保が出来ていない	雨天時の対応を事前に計画、周知しておくとともに、雨天時でも楽しく過ごせるイベントを立案していく 開所時間増を目指して職員の確保を図る
3	専門的な資格を有する者が少なく、幅広く深い支援が行えていない	児童指導員は充足されており、昨年よりも経験値が上がっているが、その他の専門資格(理学療法士など)を有する者がいないため、新しい知識・技術が得にくい	経験年数のある職員からの技術的なOJTを行い、楽に仕事が出来るとともに、新たな有資格者の獲得を目指す